

令和2年度の予算ヒアリングを進めています。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



新年度を迎え、今年も健育会グループ各病院・施設における予算ヒアリングが始まっています。私や宇都宮啓副理事長をはじめ本部の部長がグループ内の全病院・施設を訪れ、メディカルディレクターやマネージングディレクター、各部門長から今年度の運営方針に関する具体的な説明を聞いています。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、日本の医療は未曾有の危機に直面しています。健育会グループでは、Vol.213でお伝えしたように各病院・施設で独自の対応マニュアルを作成し、院内感染が発生しないように徹底した感染防止対策を講じています。こうした状況のため今年の予算ヒアリングは、3密を避け、全員がマスク着用で実施しました。また、緊急事態宣言が発令された後は、TV会議システムを利用して予算ヒアリングをおこなっています。



今年の予算ヒアリングは、下記の日程で行っています。

令和2年度 予算ヒアリングスケジュール	
3月24日 (火)	ケアポート板橋
3月27日 (金)	竹川病院、ケアセンターけやき
3月31日 (火)	ライフサポートひなた
4月1日 (水)	いわき湯本病院
4月6日 (月)	熱川温泉病院、ライフケアガーデン熱川
4月8日 (水)	石川島記念病院
4月9日 (木)	西伊豆健育会病院、しおさい
4月15日 (水)	茅ヶ崎セントラルクリニック、ねりま健育会病院、ライフサポートねりま
4月16日 (木)	石巻健育会病院、ひまわり在宅事業部、しおん
4月17日 (金)	花川病院、喬成会在宅事業部、ライフケアガーデン湘南
4月27日 (月)	湘南慶育病院

各病院・施設で聞く話の中で、私が最も重視しているのは、各部門の「理念実現時の姿」「1年後の姿」「1年後の姿に向けたアクション」の3点。病院全体の「1年後の姿」と各部門の「1年後の姿」の整合性はとれているか、「1年後の姿に向けたアクション」は、タイムスケジュールが入った具体的な行動となっているか、ということ細かくみていきます。また疑問点があれば、その場で質問し、詳細の確認をします。単に書面で確認するのではなく、実態に即した現場の声を直接聞くことで、予算の裏付けやそれを達成するための意気込みを感じ取ることができます。この「1年後の姿」にむかって職員全員がベクトルを合わせて進むことができれば、自ずと予算は達成されます。そういった意味でも、この年度当初におこなう予算ヒアリングのディスカッションはとても重要な位置づけにあります。



今、報道は新型コロナウイルス一色ですが、他の病気や怪我で苦しんでいる患者も当然います。そうした人々を救うことが我々の使命であり、同時にCOVID-19に対応する医療関係者への援護にもなるはずです。健育会グループが今年掲げている「ワンチームで、ビジョン達成を！」は、今や日本の医療全体に求められています。健育会グループが今年度の予算を達成することは、日本の医療に貢献することにもつながると信じています。長期戦が予想される新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝って日本の医療の底力を示すためにも、全職員が心を一つにしてこの難局を乗り切ってほしいと思います。

